

知事コメント

令和4年産「米の食味ランキング」について

令和5年2月28日
富山県知事 新田 八朗

- 1 本日、一般財団法人 日本穀物検定協会が実施する「米の食味ランキング」が公表され、本県から出品した「コシヒカリ」、「富富富」、「てんこもり」の3品種については、いずれも「A」の評価（「特A」に次ぐ評価）となりました。
- 2 令和4年産は、7月末から8月上旬の出穂時期の高温や登熟期間である8月中旬以降の日照不足が重なる大変厳しい気象条件となりました。
しかし、生産農家や関係機関が連携して品質確保対策に懸命に取り組んだ結果、県産米の品質については、一等比率（12月末現在）が全国平均や北陸平均を上回る86.8%となっているほか、高温に強い「富富富」は95.3%と、総じて高い水準を確保しています。また、実需者からは、富山米への高い評価が得られているところです。
- 3 令和5年産米に向けても、引き続き、富山米が市場から高い評価を得られるよう、生産者、農業団体、研究機関、普及組織等がワンチームとなって、気象や生育に応じた技術対策の徹底をさらに進めてまいります。
また、地球温暖化が進むなか、今後も気象条件の厳しさが増すと見込まれていることから、高温に強く倒れにくい「富富富」の生産拡大と販売先確保にスピード感を持って取り組んでまいります。